

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 5 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【公開番号】特開 2018-71930 (P2018-71930A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2016-214901 (P2016-214901)

【国際特許分類】

F 2 5 D 23/02 (2006.01)

【F I】

F 2 5 D 23/02 3 0 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 2 日 (2019.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

冷蔵庫本体と、前記冷蔵庫本体に設けた冷蔵室および前記冷蔵室を開閉する観音開き式の扉と、前記観音開き式の扉のいずれか一方の端部に設けた回転仕切体とを備え、前記回転仕切体は貯蔵室側外郭部材および外気側外郭部材と、前記貯蔵室側外郭部材と前記外気側外郭部材との間に設けた袋部材を有し、前記袋部材内部に発泡断熱材を充填して構成された冷蔵庫。

【請求項 2】

前記袋部材に設けられた、発泡断熱材注入用の第 1 の孔と、前記貯蔵室側外郭部材に設けられた、発泡断熱材注入用の第 2 の孔とを備え、前記第 1 の孔と前記第 2 の孔とが対向していることを特徴とする請求項 1 に記載の冷蔵庫。

【請求項 3】

前記貯蔵室側外郭部材の内面に設けられた、金属製の補強板と、前記袋部材に設けられた、発泡断熱材注入用の第 1 の孔と、前記貯蔵室側外郭部材に設けられた、発泡断熱材注入用の第 2 の孔と、前記補強板に設けられた、発泡断熱材注入用の第 3 の孔とを備え、前記第 1 の孔と前記第 2 の孔と前記第 3 の孔とが対向していることを特徴とする請求項 1 に記載の冷蔵庫。

【請求項 4】

前記貯蔵室側外郭部材に空気抜き用の第 4 の孔が設けられていることを特徴とする請求項 2 に記載の冷蔵庫。

【請求項 5】

前記貯蔵室側外郭部材に空気抜き用の第 4 の孔が設けられ、前記補強板に前記第 4 の孔に対向する第 5 の孔が設けられていることを特徴とする請求項 3 に記載の冷蔵庫。

【請求項 6】

前記第 2 の孔と前記第 4 の孔を塞ぐように緩衝シートが設けられていることを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の冷蔵庫。

【請求項 7】

前記袋部材に空気抜き用の第 6 の孔が設けられていることを特徴とする請求項 2 から 6 のいずれか一項に記載の冷蔵庫。

【請求項 8】

前記回転仕切体内部の長手方向の端部に成形断熱部材を備えた請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の冷蔵庫。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記従来の課題を解決するために、本発明の冷蔵庫は、冷蔵庫本体と、前記冷蔵庫本体に設けた冷蔵室および前記冷蔵室を開閉する観音開き式の扉と、前記観音開き式の扉のいずれか一方の端部に設けた回転仕切体とを備え、前記回転仕切体は貯蔵室側外郭部材および外気側外郭部材と、前記貯蔵室側外郭部材と前記外気側外郭部材との間に設けた袋部材を有し、前記袋部材内部に発泡断熱材を充填して構成されたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】